12 画面を切り替えた い・運転画面を保 存したい

この章では、GP-Pro EX の「画面を切り替えたい・運転画面を保存したい」についての基本的な説明 と、設定変更のための基本操作について説明します。

まず「12.1 設定メニュー」(12-2 ページ)をお読みいただき、目的に合った説明ページへ読み進んで ください。

12.1	設定メニュー	
12.2	タッチで表示画面を切り替えたい	12-4
12.3	GP 起動時の表示画面を決めたい	12-7
12.4	PLC などの接続機器から画面を切り替えたい	12-10
12.5	タッチと PLC(接続機器)の両方から画面を切り替えたい	12-13
12.6	運転時の表示画面を保存したい	12-18
12.7	階層構造で表示画面を切り替えたい	12-21
12.8	制限事項	12-25

12.1 設定メニュー





12.2 タッチで表示画面を切り替えたい

12.2.1 詳細



画面上にスイッチを配置し、「画面切替」に設定すると任意の画面に切替えられるスイッチを作ることができます。

12.2.2 設定手順

- MEMO・設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
 ^{GP}「11.14.3 画面切替スイッチ」(11-60 ページ)
 - 部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘版の設定方法詳細は、「部品の編集手順」を 参照してください。

^{②デ}「9.6.1 部品の編集手順」(9-37 ページ)

タッチでベース画面 "10" に切替えるためのスイッチを作成します。



1 [部品 (P)] メニューの [スイッチランプ (C)] から [画面切替スイッチ (C)] を選択するか、ツール バーから ● をクリックし、画面に配置します。



2 配置したスイッチをダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

🏄 スイッチ/ランプ	×
部品ID SL_0000 三 コメント 通常 形状違択 下形状なし	スイッチ供能 スイッチ供能 カラー 銘板 マルチファングジョンリスト シンプ () () () () () () () () () () () () ()
ヘルプ(<u>H</u>)	OK(Q) キャンセル

- 3 [形状選択]でスイッチの形状を選択します。
- 4 [画面切替動作]で[画面切替]を選択します。[画面番号]には切替えたい画面の番号(例:10)を 設定します。

スイッチ機能 スイッチ共通 「ランプ機能 カラー 銘板			
 又イッチ機能 マルチファンクションリスト 画面切替スイッチ 	ご ご		

5 必要に応じて[カラー]タブ、[銘板]タブでスイッチの色や表示させる文字を設定し、[OK]をク リックします。

MEMO ・ スイッチの形状によっては、色を変更できないものがあります。

12.3 GP 起動時の表示画面を決めたい

12.3.1 詳細



GPの電源を ON したとき最初に表示させたい画面を指定しておくことができます。

12.3.2 設定手順

MEMO ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

⁽³⁾「6.13.6 [システム設定ウィンドウ]の設定ガイド [本体設定]の設定ガイド 表示設 定」(6-90 ページ)

電源が ON すると画面 "1" が表示されるよう設定します。



1 [システム設定ウィンドウ]タブを選択してシステム設定ウィンドウを開きます。

システム設定ウィンドウ 🛛 🕂 🗙	📮 ベース 1
表示器設定	
機種設定	-
本体設定	
2 77) 設定	
周辺機器設定	
周辺機器一覧	
<u>持続機器設定</u>	
· 小小内設定	-
バーコード設定	2
2.加ばト設定	
	4
🎘 シス) 🏛 アド 🚨 共 🔡 画	

2 [表示器設定]の中から [本体設定]を選択します。



3 [表示設定] タブの [初期画面番号] に、表示させたい画面番号「1」を設定します。この画面が電源 ON 時に最初に表示される画面になります。

本体設定 表示設定 操作設定 動作設定 システムエリア設定			
画面設定			
初期画面番号			
表示画面番号のデータ形式	⊙ Bin C BCD		
本体からの画面切替			
☑ 接続機器へ反映			
スタートタイム	0 🗄 🏢 秒		
スタンバイモード設定	無		
スタンバイモード時間	1 🗄 🔠 分		
スタンバイモード時の切替画面番号			

12.4 PLC などの接続機器から画面を切り替えたい

12.4.1 詳細



接続機器から GP 画面を切り替える設定方法

通常、GPは接続機器(PLCなど)と通信し、表示に必要なデータを得ています。

また、接続機器の一部のエリアを使用し、GPの動作に関する情報を共有することで接続機器から GPの状態を確認したり、動作を変えたりできるようになっています。

12.4.2 設定手順

 MEMO

 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
 (6-13.6 [システム設定ウィンドウ]の設定ガイド [本体設定]の設定ガイド 表示設定」 (6-90 ページ)
 システムデータエリアの詳細については、以下を参照してください。
 (3)
 (6)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)

 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)
 (7)

PLC などの接続機器から画面を切替えるための設定を行います。



1 [システム設定ウィンドウ]タブを選択してシステム設定ウィンドウを開きます。

システム設定ウィンドウ 🛛 🕂 🗙	🛄 ベース 1
表示器設定	
機種設定	
本種設定	
国初继史起宁	
间边探播放走	1
周辺機器一覧	
接続機器設定	-
<u>プリンタ設定</u>	-
<u>バーコード設定</u>	
<u>スクリプト設定</u>	
	3
	-
	4 -
🎘 シス) 井 アド 💷 共 🔠 画	

2 [表示器設定]の中から [本体設定]を選択します。



- 3[システムエリア設定]タブを開き、[システムエリア先頭アドレス]を設定します。
- 4 [システムデータエリアを使用する] にチェックを入れ、[切替画面番号:(1ワード)] にチェック が入っていることを確認します。

本体設定				
表示設定 操作設定 動作設	定 システムエ!	リア設定		
機器設定				
システムエリア機器	PLC1		·	
└────────────────────────────────────				
システムエリア先頭アドレス	[PLC1]D000	00		
読込みエリアサイズ	p 📑	#		
▶ システムデータエリアを使用	用する			
システムデータエリアの項	目選択	使用ワード数 16		
☑ 表示中画面番号:(ロード)	[PLC1]D00000		
☑ エラーステータス:(1ワ	-F)	[PLC1]D00001		
▶ 時計データ現在値):(4ワード)	[PLC1]D00002		
☑ ステータス:(1ワード)		[PLC1]D00006		
☑ 予約(Write):(1ワー)	<)	[PLC1]D00007		
✓ 切替画面番号:(15)	「 <u>「</u> 下"	[PLC1]D00008		
▼ 画面表示ON/OFF	:(1ワード)	[PLC1]D00009		
▶ 時計データ設定値):(4ワード)	[PLC1]D00010		
ערטאעב 🗹)	[PLC1]D00014		
▼ 予約(Read):(1ワー)	<)	[PLC1]D00015		
ר-ח-עבליאטיאל	(1ワード)			
□ ウィンドウ画面番号:	(1ワード)			
□ ウィンドウ表示位置:	(2ワード)			

5 [切替画面番号:(1ワード)]のアドレス(例:[PLC1]D00008)に、切り替えたい画面番号をロジッ クプログラムやプログラムコンソール(プロコン)などを利用して書き込むと表示画面が切り替わり ます。

12.5 タッチと PLC (接続機器)の両方から画面を切り替えたい

12.5.1 詳細



画面切替スイッチと接続機器 (PLC など)からの画面切り替えを併用することができます。

12.5.2 設定手順

- MEMO
 ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

 (3) 「11.14.3 画面切替スイッチ」(11-60 ページ)
 - 部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘版の設定方法詳細は、「部品の編集手順」を 参照してください。

^{②デ}「9.6.1 部品の編集手順」(9-37 ページ)

タッチと PLC (接続機器)の両方から表示画面を切り替えるための設定を行います。 (タッチでの画面切り替えは、画面 "10" に切り替わるように設定します。)



1 [部品 (P)] メニューの [スイッチランプ (C)] から [画面切替スイッチ (C)] を選択するか、ツール バーから ● をクリックし、画面に配置します。



2 配置したスイッチをダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

🏄 スイッチ/ランプ 💦	×
部品ID SL_0000 三 コメント 通常 形状選択 下状ズなし	スイッチ共通 ランブ機能 カラー 銘板 マルチファングションリスト ごの ごの ごの 画面切替スイッチ ビットスイッチ ワードスイッチ 画面切替動作 画面切替動作 画面面番号 画面番号 「 ごの 」 (1 - 9999) 追加 」 1 1
ヘルプ(田)	<u> してのためが</u> のK(②) キャンセル

- 3 [形状選択]でスイッチの形状を選択します。
- 4 [画面切替動作]で[画面切替]を選択します。[画面番号]には切り替えたい画面番号 "10" を設定します。

スイッチ機能 スイッチ共通 ランプ	機能 カラー 銘板
✓ スイッチ機能 マルチファンクションリスト 画面切替スイッチ	シートスイッチ ワードスイッチ 画面切替 特殊 7 ビットスイッチ ワードスイッチ 画面切替 特殊 7 画面切替動作 画面切替 画面切替 画面切替 「「」」」」 (1 - 9999) 「階層画面切替

5 必要に応じて[カラー]タブ、[銘板]タブでスイッチの色や表示させる文字を設定し、[OK]をク リックします。

MEMO ・ スイッチの形状によっては、色を変更できないものがあります。

6[システム設定ウィンドウ]タブを選択してシステム設定ウィンドウを開きます。



7 [表示器設定]の中から [本体設定]を選択します。



8 [表示設定]タブを開き、[接続機器へ反映]にチェックを入れます。

本体設定			
表示設定 操作設定 動作設定 システムエリア設定			
初期画面番号			
表示画面番号のデータ形式	⊙ Bin ⊂ BCD		
本体からの画面切替			
☑ 接続機器へ反映			
29-1914	◎ 🗄 🏾 秒		
スタンバイモード設定	無 •		
スタンバイモード時間	分 三 三 二 分		
スタンバイモード時の切替画面番号			

- MEMO [接続機器へ反映]にチェックを入れると、タッチによって変更された画面番号(現在表示している画面番号)が、以下の手順で設定する[画面切替番号:(1ワード)]のアドレスに書き込まれます。チェックを入れないとタッチによって変更された画面番号は書き込まれず、接続機器から画面切り替えできない場合があります。
- 9[システムエリア設定]タブを開き、[システムエリア先頭アドレス]を設定します。
- 10 [システムデータエリアを使用する] にチェックを入れ、[切替画面番号:(1ワード)] にチェック が入っていることを確認します。

本体設定			
表示設定 操作設定 動作設定 ジ	マステムエリア設定		
- 機器設定			
システムエリア機器 PLC	71		
システムエリア先頭アドレス [PLC	C1]D00000		
読込みエリアサイズ 0			
🔽 システムデータエリアを使用する			
システムデータエリアの項目選択	使用ワード数 16		
▶ 表示中画面番号:(1ワード	(PLC1]D00000		
☑ エラーステータス:(1ワード)	[PLC1]D00001		
☑ 時計データ(現在値):(4ワ-	ード) [PLC1]D00002		
ステータス:(1ワード)	[PLC1]D00006		
▼ 予約(Write):(1ワード)	[PLC1]D00007		
☑ 切替画面番号:(1ワード)	[PLC1]D00008		
✓ 画面表示ON/OFF:(1ワー)	ド) [PLC1]D00009		
☑ 時計データ醸定値):(4ワ-	-ド) [PLC1]D00010		
🔽 בטאם-געמס-א)	[PLC1]D00014		
▼ 予約(Read):(1ワード)	[PLC1]D00015		
🗌 ウィンドウコントロール(1ワー	- (3)		
□ ウィンドウ画面番号:(1ワー	(7)		
□ ウィンドウ表示位置:00~	(7)		

11 タッチで表示画面を切替える場合は画面切替スイッチで、PLC(接続機器)から表示画面を切り替え る場合は[画面切替番号:(1ワード)]のアドレス(例:[PLC1]D00008)に画面番号を書き込むこと によってタッチとPLC(接続機器)の両方から表示画面を切り替えることができます。

12.6 運転時の表示画面を保存したい

12.6.1 詳細



GP が運転中に表示している画面を CF カードに保存(画面キャプチャー)することができます。保存 した画面は JPEG ファイル形式(*.jpg)で格納されます。



12.6.2 設定手順

MEMO ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。 ⁽³⁾「6.13.6 [システム設定ウィンドウ]の設定ガイド [本体設定]の設定ガイド 動作設 定」(6-93 ページ)

GPに表示中の画面をキャプチャーする設定を行います。(キャプチャーをコントロールするアドレスに "D100"を使用します。)



1 [システム設定ウィンドウ]タブを選択してシステム設定ウィンドウを開きます。

システム設定ウィンドウ 🛛 🕂 🗙		<u> </u>
表示器設定		0
<u>機種設定</u>	-	
本体設定	-	
	÷	
	:	
间边做器设定	1	
周辺機器一覧	8	
接続機器設定	÷	
<u>プリンタ設定</u>		
バー <u>コード設定</u>	-	
スクリプト設定	E	
	1	
	3	
	:	
	1	
	E .	
	4	
	1	
🌆 シス)井 アド 🗳 共 🔡 画		

2 [表示器設定]の中から [本体設定]を選択し、 [動作設定]タブを開きます。

<u>システム設定ウ心ドウ 表示器設定</u> 継続設定	表示器タイプ シリーズ GP3000シリーズ 機種 AGP-3500T 設置方法 横型
1011年2025 本 (桂設定 フォント設定	本体設定 表示設定 操作設定 動作設定 ステムエリア設定 ウインドウ設定
周辺機器設定 <u>周辺機器一覧</u>	グローバルウィンドウ動作 無効 💌
接続機器設定 7000分設定	
<u>バーコード設定</u> <u>スクリプト設定</u>	■面キャノチャー設定 「キャブチャー動作 コントロールワードアドレス」
	 □ 日本12年A □ ファイル番号自動加算 □ ファイル自動削除 □ ループ キャプチャー画像品質

3 [画面キャプチャー設定]の[キャプチャー動作]にチェックを入れ、[コントロールワードアドレス] "D100"を指定します。

画面キャプチャー設定		
▼ キャプチャー動作		
コントロールワードアドレス [[PLC1]D00100 🔤		
□ 白黒反転		
□ ファイル番号自動加算		
▶ ファイル 自動削増除		
ロループ		
キャプチャー画像品質		
· · · · · · · · · · · · · · ·		
低画質高圧縮(1) 80 📰 高画質低圧縮(100)		

4 [コントロールワードアドレス]+2 のアドレス "D102" にファイル番号を格納してから、[コントロールワードアドレス]"D100" の最下位のビット (ビット0)を ON すると画面キャプチャーが実行されます。(ファイル番号は、ファイル名「CP*****.jpg」の ***** 部分になります。)

D100 コントロール	00~~	001
D101 ステータス		
D102 ファイル番号		

画面キャプチャーは、指定した [コントロールワードアドレス] から連続3ワード分を使用して 行われます。

画面キャプチャーが正常に完了すると、[コントロールワードアドレス]+1のアドレス "D101" のビット 1 が ON します。このビット ON を確認して、"D100" のビット 0 を OFF してください。

12.7 階層構造で表示画面を切り替えたい

12.7.1 詳細



画面切り替えの際に階層構造を作ることができます。

画面切替スイッチの設定において [階層画面切替] にチェックを入れたスイッチで画面切り替えを 行った場合、そこに1つの階層ができます。

次に、[階層画面切替]にチェックが入ってないスイッチで数画面切り替えた場合、[前画面に戻る] を選択したスイッチをタッチすると1つ上の階層に戻ります。

- MEMO ・ [階層画面切替]にチェックを入れていない場合は、同一階層への切り替えになります。
 - 階層は 32 階層まで設定できます。
 - PLC(接続機器)からは階層画面切り替えできません。同一階層内での画面切り替えの みです。

12.7.2 設定手順

 MEMO
 ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
 「³「11.14.3 画面切替スイッチ」(11-60 ページ)
 ・ 部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘版の設定方法詳細は、「部品の編集手順」を 参照してください。

⁽³⁾「9.6.1 部品の編集手順」(9-37 ページ)

第1階層(画面 "1")から第2階層(画面 "10")に切り替え後、第2階層間(画面 "10"、"20"、"30") で画面を切り替えても、第1階層(画面 "1")にすぐに戻れる画面切替スイッチを作成します。



まず、第1階層(画面 "1")から第2階層(画面 "10")へ切り替えるスイッチをベース画面 "1" に配置 します。

1 [部品 (P)] メニューの [スイッチランプ (C)] から [画面切替スイッチ (C)] を選択するか、ツール バーから ● をクリックし、[ベース 1] に配置します。



2 配置したスイッチをダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

🏄 スイッチ/ランプ	
部品ID SL_0000 三 コメント 通常 形状選択 下形状なし	スイッチ共通 ランブ機能 カラー 銘板 マルチファンウジョンリスト シング機能 シング機能 シング機能 シング機能 マルチファンウジョンリスト シング機能 シング シング シング シング 画面切替動作 画面切替動作 画面切替 ・
ヘルプ(<u>H</u>)	OK(Q) キャンセル

3 [形状選択]でスイッチの形状を選択します。

4 [画面切替動作]で[画面切替]を選択します。[画面番号]に切替えたい画面番号"10"を設定し、 [階層画面切替]にチェックを入れます。

スイッチ機能 スイッチ共通 ランプ機能 カラー 銘板			
 ✓ スイッチ機能 マルチファングションリスト 画面切替スイッチ ビットスイッチ ワードスイッチ 画面切替 特殊スイッチ セレクタスイッチ 			
画面切替動作			
画面切替			
画面番号 10			
▶ 階層曲面切替			

5 必要に応じて[カラー]タブ、[銘板]タブでスイッチの色や表示させる文字を設定し、[OK]をク リックします。

MEMO ・ スイッチの形状によっては、色を変更できないものがあります。

次に、第2階層(画面 "10" "20" "30")から第1階層(画面 "1")へ戻るスイッチをそれぞれの画面に 配置します。

- 6 ベース画面 "10" を開き、[部品 (P)] メニューの [スイッチランプ (C)] から [画面切替スイッチ (C)] を選択するか、ツールバーから をクリックして画面に配置します。
- 7 配置したスイッチをダブルクリックして、設定ダイアログボックスを開きます。

8 [形状選択]でスイッチの形状を選択します。

9 [画面切替動作]で[前画面に戻る]を設定します。

スイッチ機能 スイッチ共通 ランプ機能 カラー 総版				
 ✓ スイッチ機能 マルチファングションリスト 画面切替スイッチ ビットスイッチ ワードスイッチ 画面切替 特殊スイッチ セレクタスイッチ 画面切替動作 前画面に定る 画面面切替 (1 - 9999) 「階層画面切替 				

10 必要に応じて [カラー] タブ、 [銘板] タブでスイッチの色や表示させる文字を設定し、 [OK] をクリックします。

MEMO • スイッチの形状によっては、色を変更できないものがあります。

11 ベース画面 "20"、"30" にも同様のスイッチを配置します。
 第2階層(画面 "10" "20" "30")の画面に配置されたスイッチをタッチすると、直前の画面ではなく、
 第1階層(画面 "1")の画面に切り替わります。

12.8 制限事項

- 12.8.1 画面切り替えの制限事項
 - 存在しない画面番号を指定した場合、画面切り替えは起こりません。
 - ダイレクトアクセス方式から見た LS8 番とメモリリンク方式から見たアドレス 15 番は内部的に同じものになっています。ただし、システム設定で[接続機器へ反映]にチェックを入れておかないとメモリリンクで書き込んだ直後にダイレクトアクセス方式による通信で LS8 番が書き換わるので、実質メモリリンク方式での画面切替は不可能になります。

本体設定	
表示設定 操作設定 動作設定 システム	エリア設定
画面設定	
初期画面番号	
表示画面番号のデータ形式	• Bin O BCD
本体からの画面切替	
☑ 接続機器へ反映	
スタートタイム	◎ ☴ ▦ 秒
スタンバイモード設定	無
スタンバイモード時間	分 三 二 分
スタンバイモード時の切替画面番号	

MEMO ・ システムデータエリアの詳細は、以下を参照してください。

^{C愛~}「付録 1.4.2 システムデータエリア」(A-10 ページ)

- 12.8.2 画面キャプチャーの制限事項
 - 画面キャプチャーにかかる時間は画像品質と画面サイズにより異なります。
 ファイルサイズは画像品質が 80 の場合で約 200k バイトになり、キャプチャーには 5 ~ 6 秒ほどかかります。
 - 画面キャプチャー中は画面の表示(部品や画面切り替えなど)は更新されません。
 - ブリンクが設定されている画面をキャプチャーする場合、ブリンクが止まった状態でキャプ チャーされます。
 - [ファイル番号自動加算]機能を設定していて、[ファイル自動削除]機能または[ループ]機能を 使用しないとき、CFカードに空き容量がない場合や最大ファイル番号「65535」まで既に存在す る場合は、[コントロールアドレス]のビット0をONしてもキャプチャーは行われません。
 - [ファイル自動削除]機能を使用する設定で、削除されるファイルが読み取り専用になっている、 またはファイルがオープンされている場合は、削除ができないため画面キャプチャー処理は実行 されません。CF ライトエラーとなります。
 - JPG ファイル数が多いほど「ファイル自動削除」に時間がかかります。数分~数十分かかる場合 があります。
 - [ループ]機能を使用する設定で、上書きまたは削除されるファイルが読み取り専用になっている、またはファイルがオープンされている場合は、画面キャプチャー処理は実行されません。「CF ライトエラー」となります。

- 上書きして保存する場合は、上書きしようとしているデータの容量以上の空き容量が CF カードに 必要となります。データが容量以上の場合に保存を実行すると書き込みエラーが発生します。
- 書き込みエラーが発生した場合、書き込み途中のファイルが CF カード内に残る場合があります。
- CFカード保存時、所定のフォルダ(¥CAPTURE)が存在しない場合は、自動的にフォルダを作成 して保存します。ただし、CFカードが初期化されていないなど、フォルダを作成できない場合は 書き込みエラーとなります。
- CFカードにはデータの書き込み回数に制限があります。(500K バイトのデータ書き換えで約10 万回)

CF カード取扱い上の注意事項

- CF カードの抜き差しの際は、必ず CF カードアクセス LED ランプが消灯していることを確認して ください。CF カード内のデータが破壊される恐れがあります。
- CFカードにアクセス中は、絶対に GP本体の電源 OFF、GP のリセット、CFカードの抜き差しは 行わないでください。CFカードへのアクセスが行えないようなアプリケーション画面を作成する などし、その画面にて電源 OFF、リセット、CFカードカバーの開閉、CFカードの抜き差しを行 うようにしてください。
- CFカードを挿入する際は、CFカードの裏表とCFカードのコネクタ位置を確認してください。取り付け向きを間違えると、データの破壊、CFカード・GPの破損の恐れがあります。
- 使用する CF カードは、(株) デジタル製の CF カードをお使いください。他社の CF カードを使用 した場合、CF カードの内容が破壊される恐れがあります。
- CF カード内のデータは、必ずバックアップを取ってください。
- データの破壊や機器の故障の原因になりますので、CFカードを以下のように取り扱わないでください。
 - 無理に曲げる
 - 落としたり強い衝撃を与える
 - 水に濡らす
 - CF カードの接続部を直接手で触れる
 - 分解や改造を行う